



共同声明



Xiao Jianhua (IAF議長), Etty Feller (ILAC議長)

世界認定の日 2019 (#WAD2019)

認定:

サプライチェーンの価値を高める



Xiao Jianhua



Etty Feller

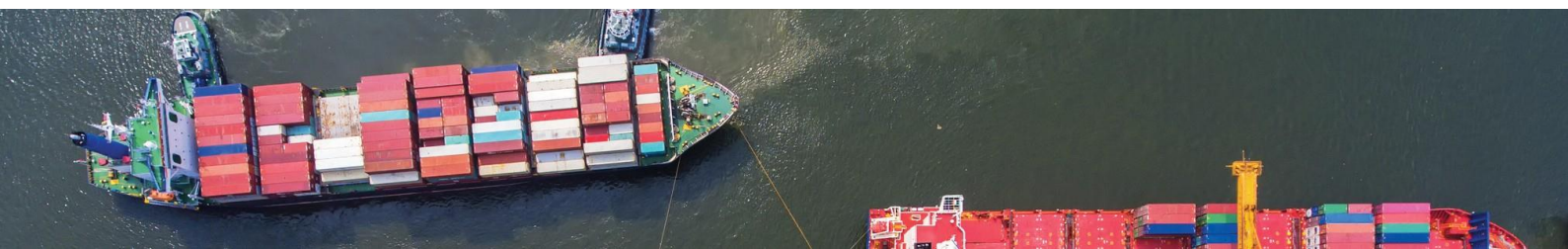
2019年の「世界認定の日」は、サプライチェーンの役割に付加価値を加えることに焦点を当てています。

サプライチェーンは、消費者、企業、公共部門に、タイムリーで費用対効果が高く、高品質な方法で製品やサービスを提供するうえで極めて重要な役割を果たしています。サプライチェーンは、持続可能で責任ある供給を確保する必要性を含め、すべての利害関係者の要求を確実に満たすことを目的として世界規模の複雑なシステムから新しく多様なサプライチェーンへと常に進化しているのです。

認定、それに認定に係りの深い規格、計量、適合性評価といった他の品質インフラは、サプライチェーンの価値向上に役立つツールとして広く受け入れられています。これらのツールは信頼と保証に役立ち、最終製品とサービスの両方、そして製品とサービスが市場で使用される際の信頼を確実にしています。

玩具の安全性を試験する試験所の認定、製造工程の検査、食品安全基準に対する食品製造業者の認定まで、認定は利害関係者の幅広いニーズを支えることでサプライチェーンに付加価値を与えています。

国境をまたぐ世界規模のサプライチェーンは、認定が持つ「国際的」な性質から大きな恩恵を受けています。国際認定フォーラム(IAF)と国際試験所認定会議(ILAC)はどちらも、国際的に開発され受け入れられている規格に基づいて認定を管理しています。例えば、試験所、検査機関、認証機関は国際規格に基づいて認定されています。次に、適合性評価機関は世界標準を使ってサンプル評価、製品評価、サービス評価、マネジメントシステム評価、要員評価を行います。この世界的な認定システムを導入することで、サプライチェーンの各分野に信頼性がもたらされ、企業にとって最も重要な信頼できる製品やサービスを提供できるようになるのです。





認定制度は世界のGDPの96%を占める経済圏を網羅していると推定されています(出典:世界経済フォーラム)。IAFのメンバーは認証機関および検証機関を認定し、ILACのメンバーは試験所と検査機関を認定します。このシステムが、世界中の認定機関の取り組みの一貫性を保証し、認定機関が国際標準を支持するのに役立っているのです。各国政府が係る近隣諸国機関と国内規制当局の両方が認定を受け入れるという大きな流れが、WTO加盟国政府がTBT協定の下で責任を果たすのに役立つのです。この例は、貿易を支援するという認定の重要な目標の1つを示しているのです。

2019年世界認定の日は、認定がサプライチェーンに付加価値を与える方法に焦点を当ててお祝いします。その目的は、幅広い層の企業、政府、規制当局、消費者が、サプライチェーンに付加価値を与えるという認定の役割を深く理解できるようにすることです。

www.business-benefits.org

www.publicsectorassurance.org

上記のURLは、イベント、報道、テレビ報道の支援資料です。

そして、世界認定の日のお祝いに合わせて100か国以上でワークショップやセミナーが開催され、認定がサプライチェーンを支えているという価値についての認識を高めるのです。

詳細については、最寄の認定機関にお問い合わせください。

http://www.iaf.nu/articles/IAF_MEMBERS_SIGNATORIES/4

<https://ilac.org/ilac-membership/>

その他の事例、調査結果、必要な資料は、次のWebサイトで入手できます。

<http://www.publicsectorassurance.org/topic-areas/health-safety/>

